

平成18年3月13日

関係各位

貴志川線の未来を“つくる”会

## 新キャッチフレーズについて

当会は平成16年9月の発足以来「乗って残そう貴志川線」をキャッチフレーズに貴志川線の存続運動を展開してまいりました。関係各位のご尽力を頂き、和歌山市・貴志川町(当時)による全国初の鉄道事業者の公募、その結果岡山電気軌道(株)による和歌山電鐵(株)への選定、また和歌山県・和歌山市・貴志川町による支援体制の確立などを経て、平成18年2月28日には南海電鉄より和歌山電鐵への鉄道事業譲渡譲受が国土交通省に認可され、貴志川線の存続が確定しましたことは、皆様ご周知の通りです。

4月1日より和歌山電鐵貴志川線が運行されることにより、当会の所期の目的は達成されました。しかしながら、貴志川線の恒久的存続には沿線住民・利用者の協力が不可欠といわれており、当会と致しましては今後とも貴志川線の支援運動を展開してゆく予定です。

存続が決定した事から「乗って残そう貴志川線」に替わるキャッチフレーズが必要であると、新キャッチフレーズを公募しましたところ、134件のキャッチフレーズが寄せられました。インターネットホームページ上でこれらのキャッチフレーズの投票を行い、その結果も加味した上で、今後の当会の活動に相応しいキャッチフレーズを検討しましたところ、以下の通り決定いたしましたのでご連絡いたします。

新キャッチフレーズ

「 もっと！ ずっと！ 貴志川線」

(名古屋市 荒川則男さん)

「もっと！」「ずっと！」の後ろには、それぞれがそれぞれの立場で、貴志川線存続のための言葉を補っていただければ、生き生きとしたキャッチフレーズになるかと思います。例えば、「利用しよう」と補えば「もっと利用しよう ずっと利用しよう 貴志川線」となります。「もっと利用促進を呼び掛けよう ずっと大切に残してゆく公共交通機関 貴志川線」「もっと利用者に親しまれる ずっと沿線住民に愛着を持ってもらえる 貴志川線」こんなアレンジもあるかと思います。鉄道会社、行政、沿線住民・利用者の三位一体となった活動が、貴志川線の未来をつくり出してゆくと私たちは信じます。

私たち“つくる”会では「もっと支援しよう ずっと存続させよう 貴志川線」として、今後とも活動してゆく計画です。

以上